

様式第3号（第8条関係）

事業計画書

団 体 名	島本町歌声サロン交流会実行委員会
選 択 テ ー マ	地域コミュニティ活動の活性化に向けた取り組み
実施予定事業名	各地域の歌声サロン及び第7回島本町歌声サロン交流会
本事業における 補助金交付回数	1回
事業の目的	島本町民の幅広い年齢層の方が、歌を通じて地域活動に参加するきっかけづくりを行うとともに、地域内外で活動、交流する機会を得ることを目的とする。
事業の対象者	① 島本町在住または在勤のすべての世代の住民 ② 歌声サロンの運営をサポートできる方 ③ 島本町歌声サロン交流会実行委員会メンバー
事業の内容 (いつ、だれが、どこで、何をするのか具体的に記載して下さい。)	令和7年5月合同歌声サロン開催（青葉ハイツ、大同、メゾン水無瀬） 令和7年6月～10月 各地区の歌声サロンのサポート(実行委員有志) 令和7年6月～10月 出前歌声サロン（実行委員の有志） 令和7年11月3日 文化祭参加（実行委員）ケリヤホール 令和7年11月11日 第7回歌声サロン交流会（住民）ケリヤホール
周知（募集）方法	ポスター、チラシ、広報しまもと、社協だよりへの掲載 口コミ、YouTube チャンネル
実施場所	ふれあいセンターケリヤホール 島本町各地域の集会所、公民館、人権文化センターなど
実施時期・回数	(時期) 5月～12月 (回数) 12回
参加予定者数	275人（※複数回実施の場合：1回当たり平均 23人） 第7回歌声サロン交流会1回100人 実行委員会 6回60人 各地域へのサポート4回55人 合同歌声サロン1回60人
事業の効果 (特に補助金で実施する内容をアピールして下さい。)	第7回島本町歌声サロン交流会をケリヤホールで開催することで多くの住民が参加でき、歌を通じて共に楽しい時間を過ごすことで住民相互の交流を深めることができる。交流会が「参加したい」と思えるイベントとなるよう、町内各所で出張型の歌声サロン開催や、町文化祭に参加することで周知を図るとともに、住民ニーズの把握を行う。 歌声サロンの楽しさ、心地よさにふれていただくことで、地域活動がより身近なものになり、新たなつながりづくりや活動展開に広がる可能性をもつと考えられる。またケリヤホール舞台上にモニターテレビを設置することにより、歌詞を投影することができるので、各曲をリードする実行委員が会場の参加者と共に歌うことが容易になる。
今後の展開	補助金交付終了後の自立に向けた展望等
	町内各所で歌声サロンの新規拠点の立ち上げ支援、現在休止中のサロンの再開に向けてのサポートを行う。拠点が增多することで交流会の参加者増が見込め、今後の持続的、安定的開催が可能となる。
	事業の最終目標・到達点等
	島本町全域に歌声サロンの拠点を広げ、歌を通じて地域の方々が気軽に交流できる場をつくる。年に一度、島本町の全域から住民が集って楽しめるような島本町歌声サロン交流会を実施する。

※補助対象事業が複数ある場合は、上の表を追加し、事業ごとに状況を記載すること。

※参加予定者数欄には、可能な範囲で参加者の内訳割合を記載すること。また、複数回実施する場合は、総数は延べ人数を記載し、1回当たりの平均人数も記載すること。